

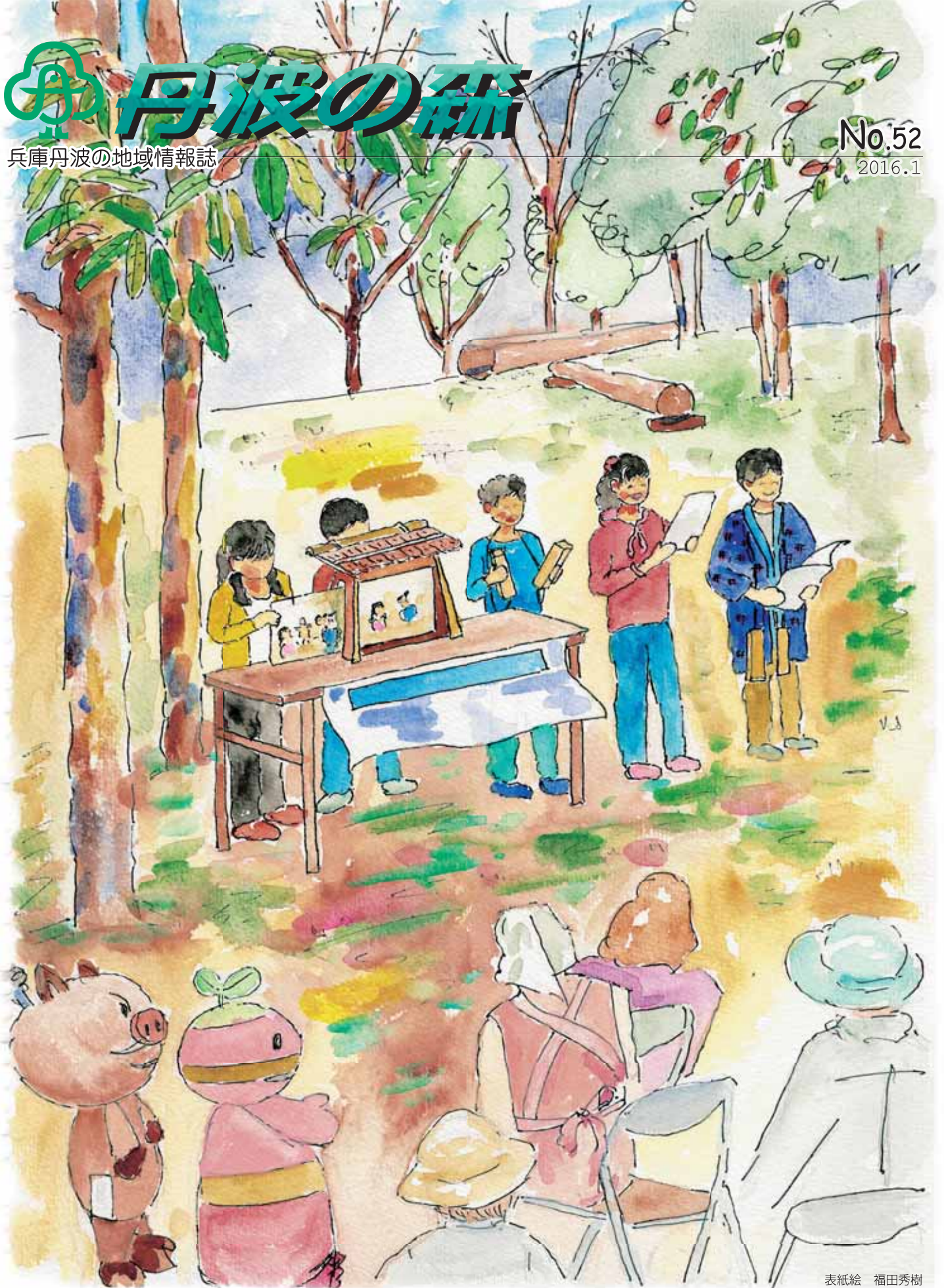


丹波の森

兵庫丹波の地域情報誌

No.52

2016.1



表紙絵 福田秀樹

* CONTENTS *

- ◆ 地球温暖化防止に向けて／丹波の森研究所の活動…p2・p3
- ◆ 森あそびのススメ…p4
- ◆ 青少年本部からのお知らせ／くらしあんしん…p5
- ◆ 丹波の森情報／丹波の森公園…p6
- ◆ 丹波年輪の里／ささやまの森公園／丹波並木道中央公園…p7
- ◆ むかしばなしでホッと一息／森のクイズ…p8

『地球温暖化防止に向けて』



丹波の森公苑長
丹波の森研究所長
中瀬 勲

数年前のことですが、広島県下の中国自動車道を走行していて驚くべき標識に遭遇しました。それは「ゲリラ雪注意」でした。広島県のみならず、他の府県でも、この表示は見られるとのこと。昨日、台風、豪雨、強風、降雪などの気象現象に関して、「観測史上初」とか「未曾有の」とかの表現がよく聞かれます。私たちは、物騒な「ゲリラ云々」の用語に慣れてしまったのでしょうか？ 今、再び、地球温暖化が着実に進行している現実を直視し、私たち自身が行動する時期にきているのです。

12月はじめ、報道ステーションの特集で、地球温暖化が紛争を生

み出す原因になっている主旨の報道がありました。ーS(イスラム国)の台頭などに関して、シリアでの干ばつが起因していることや、太平洋上の島国では、海面上昇のため住民が移住を余儀なくされつつある状況が報道されていました。

これを見ていて、思い出したのが、アメリカ元副大統領のアル・ゴア氏のことでした。彼は、2007年にノーベル平和賞を受賞したのですが、その理由は、「人為的気候変動(地球温暖化)についての問題を広く知らしめ、気候変動防止に必要な措置への基準を築くために努力したことに対して」とされています。まさに、多くの人々は気候変動と平和や国際的な紛争を関係付けていたのでしょう。

顧みますと、1992年のリオサミットでは、「環境と開発に関するリオ宣言」やこれを具体化する

ための「アジェンダ21」が採択され、気候変動枠組条約や生物多様性条約が署名されるなど、今日に到る地球環境の保護や持続可能な開発の考え方の基礎が構築されていたのです。京都で、1997年にCOP3が開催され、先進国だけでなく温室効果ガス排出削減目標を課す京都議定書が採択されたことは、まだ記憶に新しいことです。

「地球規模で考え、地域で行動しよう」を、さらに実践すべき時期にきています。

丹波「地域」では、既に、温暖化防止に対する多くの試みがなされていますが、再度、みんなで行動目標を確認するとともに、共有し、実践する時期です。私たちの日々の暮らし、住まい、会社や工場、通勤・通学・買い物などの交通、あらゆる場面で考えられます。また、生物多様性の確保、里山や農地の保全などとも関係付けて進めていきたいものです。

丹波の森研究所の活動



うー寒い！、ふくろう爺爺さん、明けましておめでとう。



おめでとう。本当に寒いなあ、年寄りにはこの寒さはこたえるわい。地球温暖化と言われるが、丹波の冬はやっぱ寒い。




この間(昨年十二月二日)、森公苑であった「丹波(多自然)地域まちづくり交流会」に行ったの。ちよっと難しかったけど、都会から移住してきた元気な女性の話は楽しかったわ。ところで「多自然」ってなに？




丹波(多自然)地域まちづくり交流会の様子

「多自然」とは簡単に言うと、豊かな地域と言ったことじゃな。兵庫県では、丹波のような多自然地域で都市

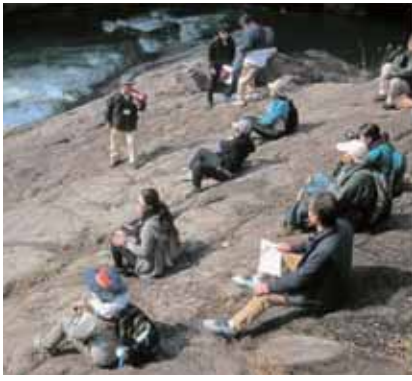
と農山漁村との住民の交流や滞在・定住など、自然と共生する新たな「一田舎暮らし」を進めておるのじゃ。

 ふくん、丹波って大阪や神戸からも近いし、自然もいっぱい、美味しいものもいっぱいだもんね！


ところで前にお話していた「丹波地域恐竜化石フィールドミュージアム構想」ってどうなっているの？


 そうじゃな、色々テストをやっているそうじゃ。それでは今日は、フィールドミュージアム構想を丹波県民局とともに推進している丹波の森研究所（兵庫丹波の森協会）の活動を話してみようかのう。


十一月には「川代深谷ウォーキングツアー」があったぞ。恐竜化石が見つかった篠山層群の話や龍魂寺（説宗寺）の和尚さんの話を聞いたりしながら歩いたんじゃ。天気も良くて面白かったぞ。





丹波電化石発見者の村上茂さんから説明を聞く

 色んな話を聞きながら歩くのって楽しそうね。健康にも良いし、勉強にもなるし良いね。


 今回はテストツアーじゃったがこれから楽しい企画やルートを考え、地域の人たちと一緒に、多くの人に参加して欲しいのう。


 たんちゃんは化石発掘体験をやったことはあるかの？


 あるよ。残念ながら化石は発見できなかったけど面白かったよ。


 そうじゃったか。化石発掘体験では、石の説明や化石のことなど、色々教えてくれる方達がいたじやろ。そういう人たちがインタープリターと言はんじゃ。これからフィールドミュージアム・ツアーを沢山するには、インタープリターが必要なんじゃ。

 インタープリターって初めて聞いたけど、どういう意味なの？

 インタープリターとは、自然と人との「仲介」となって自然の解説を行う人のことじゃ。

 そうそう、化石発掘体験の時も一徳年前に生きていた恐竜やカエルの話、面白かったわ。それじゃ龍魂寺の和尚さんもインタープリターね。


 そうじゃな、自然や化石だけじゃなく、フィールドミュージアムにある様々なものを分かりやすく解説してもらおうとおもしろいなあ。


 それでフィールドミュージアム構想ではインタープリターの講座を開き、勉強会や視察を始めておる

ぞ。十一月には第一回の研修会があり30人近くの方が参加したぞ。これからもこうした講座を開く予定だそうじゃ。





第1回インタープリター研修会の様子


 フィールドミュージアムの地元篠山市や丹波市の市民の方達も参加できる講座になればいいね。

 そうじゃな。そんな人達から次世代のインタープリターが育てば、フィールドミュージアム構想がもっともつと広がるかもしれんかのう。

昨年の十月には、丹波市山南町の地元有志の人たちが、丹波竜が見つかったすぐ近くの篠山層群で発掘調査を行ったところ、恐竜の歯の化石が見つかったそうじゃ。これは篠山層群が日本でも有数の化石発見地であることを意味しとるんじゃ。これからもっとすごい化石が発見されるかもしれんな。

 へえ、すごいね！篠山市でも丹波並木道中央公園に新しい恐竜化石の展示館や化石発掘体験施設が出来るそうね。

 よく知っておるのう。来年には建築工事が始まるそうじゃ。

 丹波市のちーたんの館のようになればいいのになあ。フィールドミュージアムでいっぱい遊べるようになったらいいのになあ！

プロフィール たんちゃん

丹波地域に住む、小学4年の元気な女の子。ふくろう爺さんと話すうちに、丹波地域や地域づくりのことがだんだんわかり、おもしろくなってきた。

ふくろう爺さん

丹波の森に長く棲み、丹波地域を見つづけてきた長老のふくろう。地区ごとの地域づくりを、あたたかく見守りながら、エールを送っている。

地域づくりは、地域の課題の解決と望ましい将来像の実現にむけて、地域の資源（人・モノ・カネ・情報など）をいかして持続的に取り組むことです。兵庫丹波の森協会／丹波の森研究所は、支援が必要な地区の勉強会や計画づくりなどに研究員が駆けアドバイスをしたり、ご相談に応じます。

ご連絡は

兵庫丹波の森協会(門上)へ
TEL/FAX/079-431-0000
E-mail: mori-kenkyu@tanba-mori.or.jp

森あそびのススメ

国蝶オオムラサキの冬越し

丹波の森公苑では丹波の里山に国蝶オオムラサキの舞う姿を取り戻すため、平成19年からオオムラサキを飼育し、平成21年からは公苑内で放蝶を行っています。

さて、オオムラサキは約1年の命ですが、7～8月頃に卵から孵化し、夏～翌年の春

まで幼虫で過ごし、5～6月頃蛹（さなぎ）に変態し、その後約2週間程度で成虫、つまり蝶になります。蝶としての寿命は約40日程度といわれています。

オオムラサキの幼虫は、落葉樹であるエノキの木（エノキの葉をエサとするため）で過ごしますが、では寒い冬の時期はどのように過ごしているのでしょうか。

オオムラサキの幼虫は、個体差はありますが10月中旬頃からミドリ色の身体が徐々に枯れ葉に似た褐色化していき、11月になるとエノキの幹をつたい木の根元に降り始めます。どこに行くかと言えば、落ち葉の下に潜り込み、越冬するためです。（エノキは落葉樹のため、冬には葉を落とします。）

だいたい3月下旬頃までは越冬しており、その間はなにも食べていません。

春になりエノキの葉が芽吹く前に、木に登り始め、葉が十分に伸びるまで、幹や枝で待っています。葉を食べるようになると、身体の色は、また、ミドリ色となり、もりもり食べて大きく成長し、やがて蛹を経て見事な蝶になります。

ところで、幼虫が越冬している11月後半から3月頃にかけては、オオムラサキの幼虫を確認しやすい時期でもあります。エノキの根元から1m程度までの落ち葉をそっと裏返してみると幼虫がいるかもしれません。（確認した後は、落ち葉を元の状態に戻してください。）

あなたの住んでいる地域にエノキがあれば、オオムラサキの幼虫を探してみませんか。



ゴマダラチョウの成虫

なお、オオムラサキはタテハチョウ科に属しますが、同じエノキの葉をエサとするタテハチョウ科のゴマダラチョウの幼虫もオオムラサキと似ており、同じように落ち葉の下で冬を越します。違いは背中突起の数で、オオムラサキは4つあるのに対し、ゴマダラチョウは3つとなります。丹波地域のオオムラサキの分布を調べるため、もし、オオムラサキの幼虫を発見したら、丹波の森公苑森づくり課まで連絡いただけないでしょうか。



ゴマダラチョウの越冬幼虫（背中突起が3つ）



オオムラサキの成虫（オオ）



オオムラサキの越冬幼虫（背中突起が4つ）

森づくり課直通電話番号：0795-72-5165

<現在、オオムラサキが確認されている地域>

- 丹波市：市島地域
- 篠山市：篠山地域、八上地域、岡野地域、多紀地域

丹波青少年本部からのお知らせ

「丹波の森若者塾」紹介

各高等学校が地域内に拠点を持つ大学のサポートを受けながら実施する丹波青少年本部の「丹波の森若者塾」事業を活用して行っている地域活動を紹介します。今回は、「篠山産業高等学校丹南校」です。

篠山産業高等学校丹南校

「武庫川上流部の生物と環境」

篠山市内の武庫川上流部では河川改修工事が行われています。そこで魚類・水生生物の生息状況を調査し工事が魚類・水生生物に与える影響などの検証を行っています。9月には、丹波地域を流れる武庫川をより身近に感じ関心をもってもらうと、自分たちで採取した魚を特殊な加工で触れることのできるプラスチック標本やいろいろな角度から観察ができる透明標本を製作し、今後の検証に役立てていく予定です。



透明標本製作中!

丹波出会いサポートセンター 会員募集中

はばタン会員 (年会費:5,000円)
1対1の「お見合い」の場を提供します。

あいサポ会員 (年会費:無料)
交流会など、出会いのイベント情報をお届けします。



「良い出会いがあれば結婚を…」と考えている皆様を応援しています。あなたも、一歩踏み出してみませんか? どうぞお気軽にご連絡ください。お待ちしております。
※プライバシー保護のため、来所による相談等は予約制とさせていただきます。

まずは
お気軽にお電話
ください。

丹波出会いサポートセンター (丹波の森公苑 1F)
TEL: 0795-78-9130
開館日: 水・土・日曜日 9:00 ~ 17:15
※閉館日: 月・火・木・金・祝日・年末年始 (12月29日~1月3日)

◆お問い合わせ

丹波青少年本部 TEL:0795-72-5168 FAX:0795-72-0899



ご案内

- 以下の点に注意し、各自大切に管理しましょう。
- ・マイナンバーに関して、国の関係省庁や地方自治体などが、電話やメール等で口座番号や暗証番号、所得や資産の情報、家族構成や年金・保険情報を問い合わせることはありません。
- ・マイナンバーの安全管理対応について、過度に誇張した商品販売や不正な勧誘には十分注意してください。
- ・「あなたの名前やマイナンバーを貸して欲しい」といった依頼は詐欺の手口です。人を欺くなどして、他人のマイナンバーを取得することは法律により禁止されています。このような問い合わせは、絶対に相手にしないようにしましょう。

「マイナンバー制度に便乗した電話等に注意!」

マイナンバー制度に便乗した、不正な勧誘や個人情報の取得を行おうとする電話、メール、手紙、訪問等に関する相談が、全国の関係機関に寄せられています。兵庫県内でも、メールを用いた詐欺の手口により金銭被害が発生しました。

出前講座実施中 (費用無料)

職員が自治会や老人会などの集会に出向いて、わかりやすく事例を紹介しながら、悪質商法等の被害防止を呼びかける「出前講座」を行っていますので、ぜひご利用ください。

丹波消費生活センター(丹波の森公苑内)
TEL(0795)72-0999 FAX(0795)72-0899

丹波の森公苑

※下記のお問い合わせ先 丹波の森公苑文化振興部 ☎0795-72-5170

丹波OB大学・大学院の受講生募集

- 募集講座 ①大学講座（4年制、定員60名） ②大学院講座（2年制、定員30名）
- 対象 概ね60歳以上で丹波地域在住者
- 受講料 年間12,500円
- 受付期間 1月19日（火）～3月11日（金）（先着順のため、定員に達したら受付を終了します。）
- 主な講座の内容
特別講座、教養講座、専門講座（大学のみ）、芸術鑑賞会、オープン学習、学外研修旅行、運動会（大学のみ）、クラブ活動



丹波の森新春書き初め展

- 日程 ①1月27日（水）～1月31日（日）
②2月4日（木）～7日（日）
- 場所 ①丹波の森公苑多目的ルーム、創作工房、展示ギャラリー
②篠山市立四季の森生涯学習センター東館
- 内容
丹波地域の小、中、高等学校、特別支援学校の児童生徒と、一般の方の書道作品を展示します。
※一般の方のみ出品料2千円が必要です。



展示ギャラリーの利用案内

丹波の森公苑の入口横にある展示ギャラリーでは、絵画、写真、彫刻などの作品を無料で展示できます。ぜひご利用ください。

- 利用期間 休館日を除いて12日以内
- 利用時間 9時～17時
- その他 展示期間中は、隣接の喫茶スペースを体験コーナーとして利用できます。



みんなの工作室 兵庫県立丹波年輪の里

第12回

たんば はがき絵展

平成28年2月6日(土)～2月21日(日)

「たんば」にちなんだ風物・自然・祭りなどを題材にしたはがき絵の公募展。入賞・入選作品を含む全応募作品を展示します。



WOOD WORKER'S CRAFT (ウッドワーカーズクラフト)

平成28年4月30日(土)・5月1日(日)

木工好きの方のためのフェアを開催します。個性あふれる作品の数々をお楽しみ下さい。

※ゴールデンウィーク期間中は、他にも楽しいイベントを開催予定です。



すわ てん

座つ展2016

一丹波で生まれた木の椅子一

平成28年

4月29日(金)～5月5日(木)

丹波で活動する木工家十数名が制作した木の椅子が年輪の里に集まります。



もくもく

春の木木市

平成28年5月下旬予定

丹波市内の製材所等からDIY向けの端材が大集合!掘り出し物があるかも?!

お問い合わせ先

～25種類の選べる楽しいクラフトメニューをはじめ、小さなアクセサリから木のおもちゃ、家具作りまで、工具や材料をご用意してスタッフ一同皆様のお越しをお待ちしています～

みんなの工作室 兵庫県立丹波年輪の里

〒669-3312 兵庫県丹波市柏原町田路102-3

TEL.0795-73-0725 FAX.0795-73-0727

URL <http://nenrin.org/> E-mail: mail@nenrin.org

木工作利用時間 9:00～17:00 (工作受付は16:00まで)

休館日 毎週月曜日(祝日の場合は翌平日) 年末年始12/29～1/3

入館無料

工作室使用料一般100円、中学生以下50円(材料費別途要)

団体貸切要予約

兵庫県立ささやまの森公園

平成28年1月

- ・ミニかまどを作ろう
- ・冬の動植物観察
- ・もちつき大会
- ・チェンソー講習会
- ・木炭と盆栽を作ろう(全2回)
～第1回コナラの伐採と盆栽づくり～



チェンソー講習会

3月

- ・シイタケ作り(全2回)
～第2回植菌～
- ・シカ肉ソーセージを作ろう
- ・そば打ちをしよう
- ・ダッチオープンで鶏肉料理
- ・草木染めをしよう
～藍で染めよう～
- ・バードウォッチング
- ・四季の和菓子を作ろう(早春編)



そば打ちをしよう

2月

- ・バームクーヘンを作ろう
- ・冬越し昆虫を探そう
- ・どんぐりモビールを作ろう
- ・黒豆のお味噌を作ろう
- ・木炭と盆栽を作ろう(全2回)
～第2回炭焼き～
- ・ツボ押しカービングを作ろう
- ・黒豆腐とおからドーナッツを作ろう



バームクーヘンを作ろう

兵庫県立ささやまの森公園

〒669-2512

兵庫県篠山市川原511-1

TEL079(557)0045 / FAX079(557)0201

URL : <http://www.sasayamanomori.jp/>

E-mail : csr@sasayamanomori.jp



兵庫県立 丹波並木道中央公園



公園のイベント

■ノルディックウォーキング：毎月1回開催

■花と緑の教室：毎月1回程度開催

■木工教室

大人の木工教室 毎月第1土曜日、毎月第3土曜日 10時～15時

子どもクラフト 毎月第4土曜日 13時30分～15時

*親子活動などでの団体受付は随時

■プリザーブドアレンジメント：年に4回程度開催

その他、公園では様々なイベントを開催しています! 詳細は公園のHPまたは、広報紙「PARK LIFE」をご覧ください。



公園の様子



ノルディックウォーキングの様子

■地図

自動車：
舞鶴若狭自動車道
「丹南篠山口I.C」
から約5分

電車：
JR 福知山線
「丹波大山駅」から
徒歩10分



兵庫県立丹波並木道中央公園

〒669-2221 兵庫県篠山市西古佐 90 番地

TEL 079-594-0990 (8:30～17:30)

FAX 079-594-0991

駐車場利用時間：8時～17時30分

入園料、駐車場とも無料

HP <http://www.hyogo-park.or.jp/tanba/>

Twitter [namiki_michi](https://twitter.com/namiki_michi)

むかしばなしでホッと一息

ぼんごいな

西紀のある村に、気のいい小助という男がすんでいました。

ある日、よめさんの里でだんごをこねようになりました。

「お母さん、このおいしいものはなんですか。よめさんに作ってもらおうと思つて。」これはな、だんごやで。」と教えてもらいました。

小助は、おついでだんごをすすねないために「だんご、だんご。」とへりかえしながら、近道をして家に帰って行きました。

帰り道のとちゅうに小川があつたので、小助は「ぼんごいな。」と、をげんでびこえました。そのとたん、これまでへりかえしていただんごをすすねてしまいました。

それから、家「ぼんごいな。」「ぼんごいな。」と、へりかえしながら家に帰って行きました。

小助は、家「ぼんごいな。」よめさん「ぼんごいな。」を作つてくれ。」と、たのみました。

よめさんは、何のことがわからなかつたので、「それ何やね。」と、わらわら笑いあげました。

小助は、わかつてくれないうめさんにはらを立て、よめさんの頭をこつんとたたいてしまいました。「いたいやんか。ほれ、だんご



丹波(篠山市・丹波市)のむかしばなし(第1集～第10集)
販売価格 500円



のようながができたやないか。」と、なきながらおこりました。「それや、それや。そのだんごを作つてほしいのや。」と小助はさげびました。

その夜、ながよくだんごを食べる二人のすがたがありました。

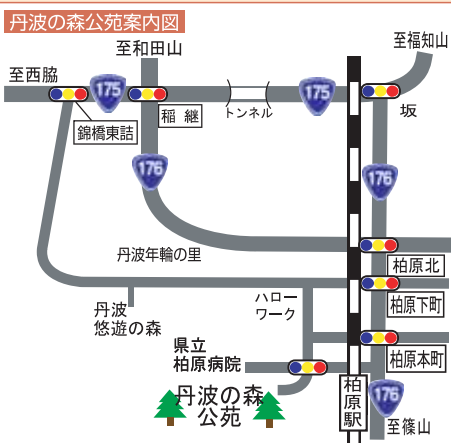
(丹波のむかしばなし第九集より)

自分の思いを伝えようとするために、「一生懸命覚えよう」としますが、なかなか覚えられません。そこで忘れないために繰り返し言っていたのですが、何かの拍子で思いが入れ替わってしまったお話です。私たちの暮らしの中でも経験したことのある話ですね。

好評
発売中

丹波の森の草花・丹波の森名木ガイド…………… 販売価格 各500円
改訂版 丹波地方の動植物「草木と生きものガイド」…………… 販売価格 600円

【お問い合わせ先】(公財)兵庫丹波の森協会 Tel.(0795)73-0933



(公財)兵庫丹波の森協会

〒669-3309

丹波市柏原町柏原 5600

Tel.0795-73-0933

Fax.0795-72-5164

http://www.tanba-mori.or.jp

E-mail: morikoen@hk.sun-ip.or.jp

印刷 ウニスガ印刷株式会社

森のクイズ

丹波の森公園には、元々この地にあったアカマツの他に北アメリカが原産のテーダマツが植えられています。さて、テーダマツの松ぼっくり(球果)は、写真①、②のどちらでしょう。

なお、テーダマツの松ぼっくりの表面に小さなトゲがあり、挿むと痛い時があります。



正解者には抽選の上、協会から記念品をプレゼントします。クイズの答えと住所、氏名、ご意見などを書いてハガキで事務局までお送りください。(〆切2月29日)